

平成 20 年度

「学生地域参画プロジェクト」報告書

茨城大学長 殿

① 代表者	所属・学年	理工学研究科 応用粒子線科学専攻
	ふりがな	しげまつ ふみあき
	氏名	重松 史明

本年度交付を受けた支援経費について、下記のとおり報告いたします。

②プロジェクト名
Formula-SAE 部の活動を通して、地元企業からの技術伝承
③活動分野
① 教育・研究 ② ボランティア ③ 課外活動 ④ 地域交流 ⑤ 国際交流 ⑥ その他
④プロジェクトの地域連携先
<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社 小峰製作所 ・株式会社 日立ゲージ工業所 ・株式会社 日立産機システム ・株式会社 アート科学 ・株式会社 日立製作所オートモーティブシステムグループ ・株式会社 香陵住販 ・ケイズスポーツリンク ・株式会社 JWAY ・株式会社 茨城トヨタ ・株式会社 水戸工機 ・有限会社 村田工業所 ・株式会社 エフテック ・南高野医院 ・山野井精機株式会社 ・有限会社北関東ラジエータ ・株式会社フジヤマ ・つくば自動車整備専門学校 ・株式会社メッカ ・太洋工業株式会社 ・株式会社ダイイチファブテック ・株式会社 ユニキャスト
⑤プロジェクトの実施概要
<p>私共 Formula-SAE 部は、学生が自ら構想・設計・製作した車両にて競い合う、全日本学生フォーミュラ大会に参加する為活動しています。活動には、設計やマネジメントの他に車両製作の為の部品加工や、加工場所などの確保も含まれます。部品加工技術に関しましては、私共は学生であるために未熟なところがあり、技術指導が必要になってきます。そこで日立市は技術発祥の地として身近にあるため地元企業の方々から技術伝承をして頂き地域連携プロジェクトを推進したいと考えます。私共は技術での支援・協力をして下さるスポンサーも募っております。またこの活動は今年だけにせず継続させるためにも、後輩への技術伝承も非常に重要になると考えます。</p> <p>さらには、各種イベントにも参加し、地域交流および地域活性化にも貢献できればと思います。</p> <p>そのために私共はまず、NHK による取材や新聞社による取材をお受けし PR を行いました。また、学園祭への参加は勿論、ひたちテクノフェア等の地元イベントには積極的に参加し、PR 活動を行うことを行っております。このように、地元メディアとの接触、地元イベントへの参加により、地域と深く関わっていきたいと考えております。今年度は 5 月 31 日のこうがく祭での走行の様子が NHK にて紹介されました。また地域参画プロジェクトの PR も含め朝日新聞社に取材をしていただき、現在調整中です。また、10 月に日立市で行われる技能五輪プレイメントにも車両展示予定です。</p> <p>また、技術伝承においては、日立市内にあります株式会社小峰製作所様の工場をお借りし溶接技術の指導及び加工指導をしていただいております。そして、車両製作において必要な部品の設計・加工において今年度より新たに水戸工機株式会社様にお力添えをして頂いております。その際に、現場の方々が今までの経験で得た発想や技術に触れることができ、私共学生には何事にも変えがたい貴重な経験になっております。</p> <p>更に、朝日新聞社様・香陵住販様でのアルバイトも積極的に参加し、お互い良い関係を築いて</p>

おります。走行場所を提供していただいております、ケイズスポーツリンク様では多くの地元の皆様にアドバイスをいただいております。また、レンタルトラックを割引価格にて貸し出しいただいております茨城トヨタ様では、大会終了後にマシンを貸し出し展示を行う計画を進めております。

このように今年度も地域連携の輪が広がり、より有意義な活動になっていくと考えます。そして私共は、連携企業様を私共のホームページで紹介しております。また、完成した車両に会社のロゴステッカーを貼り、車両展示の際には車両と共にPRしております。さらに、私共がお世話になっておりますスポンサー様へお送りしているニュースレター月刊報告書は地元企業の方を中心に1300名以上の方にご愛読いただいております。

我々の様々なPR活動により知名度が向上すれば、茨城大学のPRにもつながると考えます。そして、我々学生にとって技術伝承・地域交流は、非常に貴重な経験になると考えます。

⑥プロジェクトの成果(1,000字以内、別紙可)

① 活動実績(大きなイベントのみ記載します)

2008.2.19 株式会社エフテック様訪問(設計指導)

2008.9.10 ~ 13 第六回全日本学生フォーミュラ大会参戦(77チーム中22位)

2008.10.19 技能五輪プレイベント参加 2008.12.7 青少年のための科学の祭典

② プロジェクト成果

私達Formula-SAE部としてのプロジェクトは、昨年までの技術伝承に加え、地域交流も新たに主要プロジェクトに入れました。

技術伝承につきましては、株式会社小峰製作所様や株式会社日立ゲージ工業所様に設計についてのご指導・加工方法についてのご指導をいただきました。訪問回数は数十回にも及びました。さらに、20年度より株式会社エフテック様(設計・溶接指導)・ケイズスポーツリンク様(マシンセッティング指導)・つくば自動車整備専門学校様(マシンセッティング指導)・株式水戸工機様(図面・加工指導)等地元企業様のお力添えをいただき、活動の輪を広げることができました。これは技術伝承のみならず地元企業の活性化にも繋がると考えております。

地域交流につきましては、技能五輪プレイベントでのマシン展示・青少年のための科学の祭典でのマシン展示を行い数千人の日立市民の方と触れ合う中で、知名度向上・地域交流を行いました。青少年のための科学の祭典では100名近くの小学生がマシンに乗り、多くの夢を提供できたと感じました。

このような皆様の支え受け、私達のチームは第六回全日本学生フォーミュラ大会に出場し、過去最高順位である22位/77校中を達成することができました。

また、茨城大学・地域参画プロジェクト・Formula-SAE部のPRも積極的に行いました。地域参画プロジェクトを題材として、朝日新聞への記事掲載・株式会社JWAYでの活動様子の放送・毎月の活動報告書の送付(2000名)を行い、沢山の応援やアドバイスをいただきました。

⑥プロジェクト参加者(代表者を含む。別紙可)

氏名	所属(学部・学科、大学院・専攻名)	学年
重松 史明	(理工学研究科・応用粒子線科学専攻)	M1
井上 薫	(理工学研究科・応用粒子線科学専攻)	D1
杉浦 亮太	(理工学研究科・応用粒子線科学専攻)	M2
丸橋 光秀	(理工学研究科・応用粒子線科学専攻)	M2
桑田 秀憲	(理工学研究科・応用粒子線科学専攻)	M2
原田 直輝	(理工学研究科・システム工学専攻)	M1
井上 良一	(理工学研究科・機械工学専攻)	M1
渡辺 修弥	(工学部・機械工学科)	B4

上野 翔子	(工学部・マテリアル工学科)	B4
伊藤 真吾	(工学部・電気電子工学科)	B3
斎藤 渉	(工学部・機械工学科)	B2
川添 和人	(工学部・機械工学科)	B1
那須 亮太	(工学部・知能システム工学科)	B1
高見 勇人	(工学部・知能システム工学科)	B1